

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	凍結路面の坂道上に部署後、車両が滑り出し、交通事故を起こした事案
3. 体験した事例の中心的要素	火災事案で、当時の天候はくもりではあったが、路面は圧雪アイスバーンの状況であった。現場直近部署のため、坂道を進入、途中で別の活動部隊の車両が停車していたため、坂道上に部署させ活動を開始した。活動して間もなく、車両が滑り出し、後方に駐車していた一般車両に接触、更に2, 3メートル後方の土手に接触して停車した。
4. 体験した事例の原因・理由	<ul style="list-style-type: none"> ・現場出場途上から路面の変化があったが、チェーン装着を実施しなかった。 ・車両が停車してから滑り出す事案の経験がなく、予測できてなかった。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。(延焼の広がりが思ったより早かった等)
------------------	---------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成30年12月29日 午後4時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋外: 道路上
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	火災現場活動初期、[木造建物]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	部署・筒先配備
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[51]歳、勤続年数[30]年、現場経験年数[31]年、階級[消防司令] 同様の活動 [初めて]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[32]歳、勤続年数[8]年、現場経験年数[8]年、階級[消防士長] 同様の活動 [初めて]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[26]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[4]年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	全員	現場付近で他の車両が停車中のため、坂道上に部署。	路面：圧雪アイスバーン
経過2	当事者B	送水開始	
経過3	車両	送水中に車両が滑り出し、後方の一般車両に接触、その後2、3m滑り土手に接触して停車。	
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
- ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

・乗車員全員で、安全運転と安全確認を徹底する。

○装備・資機材の対策について

・道路状況に応じてタイヤチェーンを着装する
・道路状況を的確に把握し、滑るかもしれないとの認識により、二重の安全対策を講じる
(車輪止めの他、乾燥砂や塩化カルシウムを活用する)

○活動環境の対策について

・車両部署の原則を守り、傾斜地、軟弱や不安定な場所での部署を避ける

○指揮・情報伝達の対策について

付近見取図



車両損傷状況

南側から撮影



車両右側面

